

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	精神障がい者就労支援及び家族支援		
事業主体 (連絡先)	三郷に八 安曇野市三郷温228-3		
事業区分	(2) 保険、医療、福祉の充実		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	750,000	円 (うち支援金: 562,000	円)

事業内容

- 就労支援
りんご&野菜の農作業、お菓子製造加工作業をとおして、就労体験・就労の場を提供した。
- 商品開発
お菓子の新商品を開発し、各種イベント、店舗に於いての販売に繋げた。
- 家族支援
10回の家族会(一部交流会)・6回の学習会・1回の研修会を開催し、家族の学びの場、交流の場を提供した。



【厨房加工作業風景】

【目標・ねらい】

- ①当事者の回復をサポートしながら、継続的な就労支援の場を提供する。
- ②当事者が技術を習得し、自立を目指す。また、当事者が当事者をサポートできる事をめざす。
- ③商品を増やし販売に繋げる。
- ④当事者家族によるピアサポート活動を軸に、家族会、学習会の開催、相談支援を行う。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①就労体験・就労の延べ人数は前年比1.6倍。回復に役立つミーティングを当事者へ行いながら、きめ細かなサポートが出来た。
- ②指導員がいなくとも自主的に作業できるようになった。また、後輩当事者に教えながら、当事者をサポートできるような歯車が回り出した。
- ③今年度開発した新商品と前年度商品の中から売れる商品を絞り込むことで販売が向上し、利益を当事者に還元できた。
- ④当事者家族参加者延べ354名、前年比1.4倍、家族会、学習会の学びだけでなく、活動を通し当事者への理解を深め、家族も元気になることができた。

※自己評価【B】

【理由】

事業効果の達成及び今年度の課題であった「来年度以降へ向けての自立を目指す体制作り」を達成できたため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年度以降の自立への体制作りができたので、当事者家族・ボランティア・支援者などの協力を得ながら、農業・厨房作業を通して就労の場での活動を継続していきたい。
また、施設と一般就労との間の「中間就労」という形を目指しながら、就労を通し精神障がい者の回復・社会復帰をサポートしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある